

寺子屋朝日 for Teachers

誰も取り残さない防災学習 特別支援学校の実践から

埼玉県立日高特別支援学校

教諭 齋藤朝子



自己紹介

防災危機管理者
防災教育ファシリテーター
さすけなぶるファシリテーター



齋藤朝子 (さいとうともこ)
さいたま市 (旧大宮) 出身
肢体校を3校 教員28年目
3校で防災担当18年目

マッシュ&ルーム
キノコ3110号

公認心理師

こども4人
(大3・大1・高2・中2)
3女1男の母

防災士
埼玉県イツモ防災インストラクター
(一社)福祉防災コミュニティ協会
認定コーチ BCP管理者2級
特支PTAらとのユニットUNIBOW

好き: 餃子 お菓子作り 珈琲
赤 文具
嫌い: 虫 揚げパン 風船
都会 人前 **地震**

日高特別支援学校にて
防災教育チャレンジプラン防災
教育優秀賞2回受賞
ぼうさい甲子園特別支援学校
の部大賞他9年連続入賞

東日本大震災時は前任校で会議中。
腰を抜かし引きずられ運ばれる

個人でも 学校外で特別支援教育の防災を拡げてます



神奈川県立こども医療センター
防災文化祭にてブース



東京有明の
「そなエリア東京」
でのコラボイベント



県の危機管理課と
防災教材開発



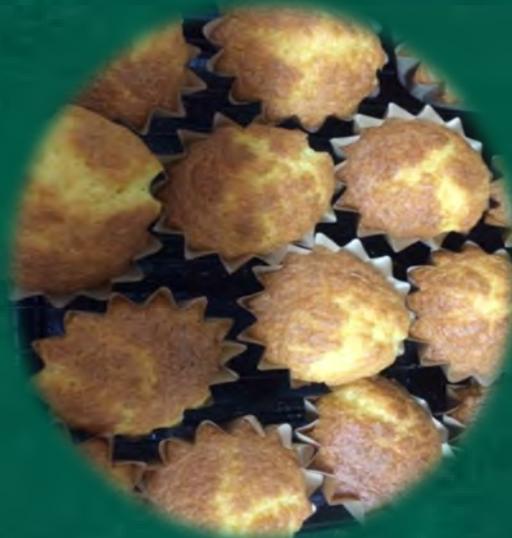
PTA向け講座、他県研修
内閣府、医療関係者、
全特連、全国の防災教育
サークル、学会等で事例発表

学校防災に関する事例紹介
～特別支援学校の防災の取り組み「かわせみ防災タイム」について～
【開催日時】令和4年11月6日(日) 20時00分～21時30分
【開催場所】オンライン (Zoom)
【内容】(1)「かわせみ防災タイム」に関する事例紹介
(2)質疑応答



特別支援教育他の雑誌

我が子にアレルギーがあり、除去食を作ってます



「これが使えないなら置き換えちゃおう」が日常に溢れています



「他のものに置き換える」

「ないなら作る」

「楽しく面白い(興味)」



1.防災教育について取り組む中で言われたこと

時間がない

教材がない

実態に
合わない

災害は
起きない

いつも+防災

私たち教員が受けた防災教育と言えば…

おさない
かけない
しゃべらない
もどらない

車椅子を使う子どもたちに「おかしも」？



先生も習ってないからそもそも防災教育がよく分からない



話すな!遅い!
って怒られる



早く逃げたいのに
走るのはダメ?

上履きが泥で
汚れるのがイヤ



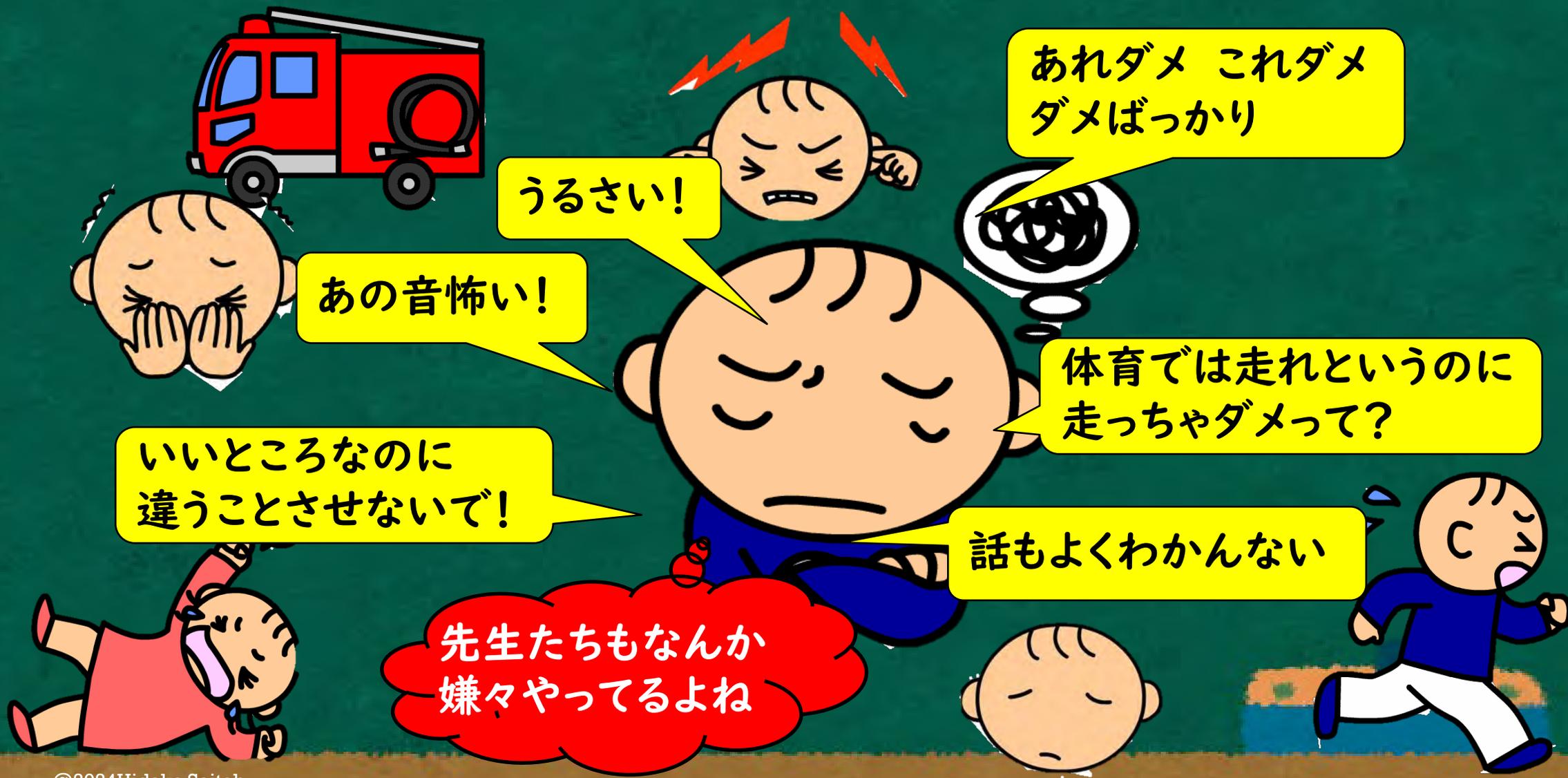
防災教育=避難訓練
でしょ?

避難が前回より
○秒遅いって怒
られるんだよね。

訓練の後の話が長くて
子どもたちもしんどそう



子どもたちにとって不快な経験になってない？



2. 特別支援教育における防災教育

新学習指導要領で扱う防災を含む「安全」が明記されている

令和2年度完全実施（小学校・小学部）

安全に関する事項の記載がある教科

特別支援学校
(知的障害のある場合)

生活科 図画工作 体育

学級活動
学校行事

特別の教科道徳 特別活動
自立活動

- A 主に自分自身 節度・節制
- D 主に生命と自然 命の尊

社会・理科・美術・職業/家庭
総合的な学習の時間

地域や学校の特色に応じた課題
児童の興味関心に基づく課題

自立活動って？ 特別支援教育の教育課程にある指導領域

それぞれの障害の状態や発達段階に応じて主体的に
自己の力を可能な限り発揮し、よりよく生きていこうとする姿

- 個々の児童又は生徒が**自立**を目指し、障害による学習上又は生活上の状の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって**心身の調和的発達の基盤を培う**。

全人的な発達を促進

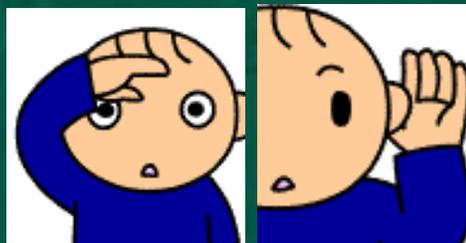
- **学校の教育課程全般を通じて適切に行うものとし**、特に自立活動の時間における指導は、各教科と密接な関連を保ち、個々の幼児児童生徒の障害の状態や発達段階等を適切に把握して、適切な指導計画の下に行うよう配慮しなければならない。

自立活動の指導は「自立活動の時間」や各教科・領域の指導を通しても行われる

それぞれの区分に項目
合計6区分27項目

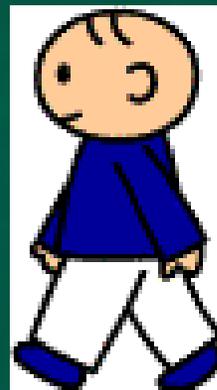


人間関係の形成

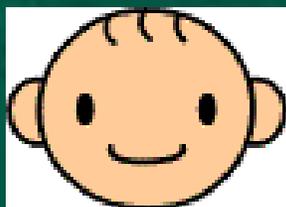


環境の把握

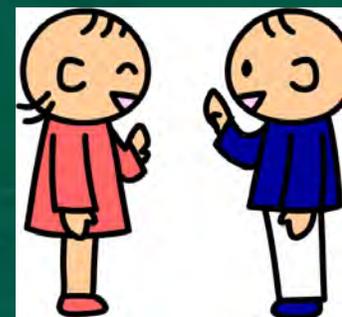
身体の動き



健康の保持



心理的な安定



コミュニケーション

本校で防災教育でつきたい力を話し合おうと

環境の把握
理科的な知識

人間関係の
形成

コミュニケー
ション

人間関係の形成

心理的な安定

健康の保持

環境の把握
心理的な安定

心理的な安定

身体の動き

心理的な安定

本校で防災教育でつきたい力を話し合うと

災害を引き起こす
事前現象を科学的
に理解する

誰かを助けよう
とする、知恵を

自分の意思を
伝える

**自立活動でのいつもの学習が
モシモの時に力になる！**

人への思いやり
感謝

生き抜こう
る気持ち

災害の備えを知り、
実行する

**防災学習は
特別なものではなく
いつもの学習の中でできる**

主時の対応
臨機応変
応する

状況を把握し、
受け入れる

とれる

落ち着いた行動
がとれる

知的障害のある場合、各教科は学年ではなく、段階で設定 系統性・発展性・年齢段階なども視点に含む

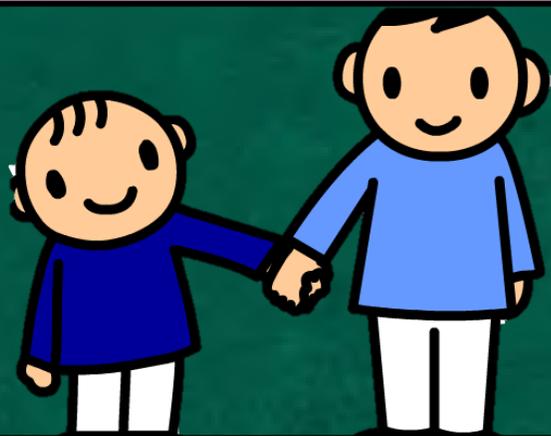
	I 小学部 1 段階	II 小学部 2 段階	III 小学部 3 段階	IV 中 学 部	V 高等部 1 段階	VI 高等部 2 段階
段 階	比較的障害が重く、他人との意思疎通に困難があり、日常生活を営むのにほぼ常時援助を必要とする者	1 段階ほどではないが、他人との意思疎通に困難があり、日常生活を営むのに頻繁に援助を必要とする者	障害の程度が比較的軽く、他人との意思疎通や日常生活を営む際に困難さが見られるが、前段階の程度までは達せず適宜援助を必要とする者	小学部 3 段階の内容の程度を踏まえ、生活年齢に応じる	小学部の内容やそれまでの経験を踏まえる	高等部 1 段階の内容を踏まえ、比較的障害の程度が軽度である生徒を対象とする
ね ら い	主として教師の直接的な援助を受けながら、児童が体験したり、基本的な行動の一つ一つを着実に身に付ける	主として教師からの言葉掛けによる援助を受けたり、教師が示した動作や動きを模倣したりするなどして、児童が基本的な行動を身に付ける	主として児童が主体的に活動に取り組み、社会生活につながる行動を身に付ける	主として経験の積み重ねを重視するとともに、他人との意思の疎通や日常生活への適応に困難が大きい生徒にも配慮しつつ生徒の社会生活や将来の職業生活の基礎を育てる	主として卒業後の家庭生活及び職業生活などを考慮した基礎的な力を育てる	主として卒業後の家庭生活及び職業生活などを考慮した発展的な力を育てる

静岡県総合教育センターより

特別支援学校「防災を含む安全に関する教育」は 「生活科」の「イ 安全」

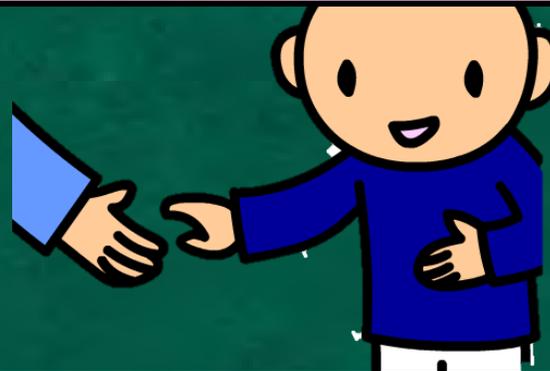
1段階（生活安全）から3段階（交通安全・生活安全・防災安全）と発展

1段階
自分では解決できない



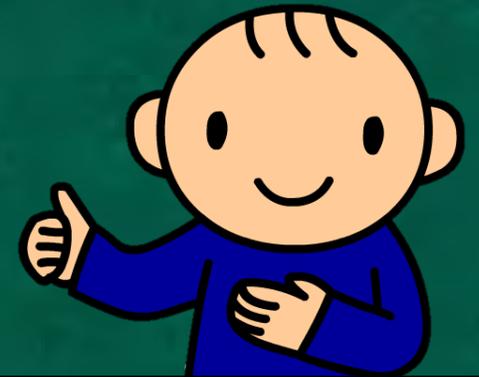
- ・身の回りの安全に**気づき**
教師と一緒に安全な生活に取り組もうとする
- ・安全に関わる初歩的な知識と技能を身につける

2段階
教師の援助があれば
解決できる



- ・身近な生活の安全に**興味を持ち**、**教師の支援**を求めながら安全な生活に取り組もうとする
- ・安全や**防災**に関わる基礎的な知識と技能を身につける

3段階
教師の言葉かけがあれば
解決できる



- ・日常生活の安全や**防災**に関心を持ち、安全な生活をするよう**心がける**
- ・安全や**防災**に関わる知識や技能を身につけること

学校ごとに学校安全計画を作成

学校要覧に掲載されている

その月の重点

平成29年度学校安全計画 埼玉県立日直特別支援学校

項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
月の重点	学校での過ごし方の基本を学ぶ	避難経路を確認しよう	グループで安全に学習しよう	夏の安全な過ごし方を学ぶ	校外学習と安全に学ぶ	行事行事と安全に学ぶ	秋の安全な過ごし方を学ぶ	災害時の行動を確認しよう	事故の防止について確認しよう	安全な生活について確認しよう		
安全学習	<p>各教科・領域の安全学習内容</p> <p>本校の防災学習も記載されている</p>											
安全管理	<p>安全管理の内容</p>											
学校行事	<p>組織活動の内容(職員研修)</p>											

各教科・領域の安全学習内容

本校の防災学習も記載されている

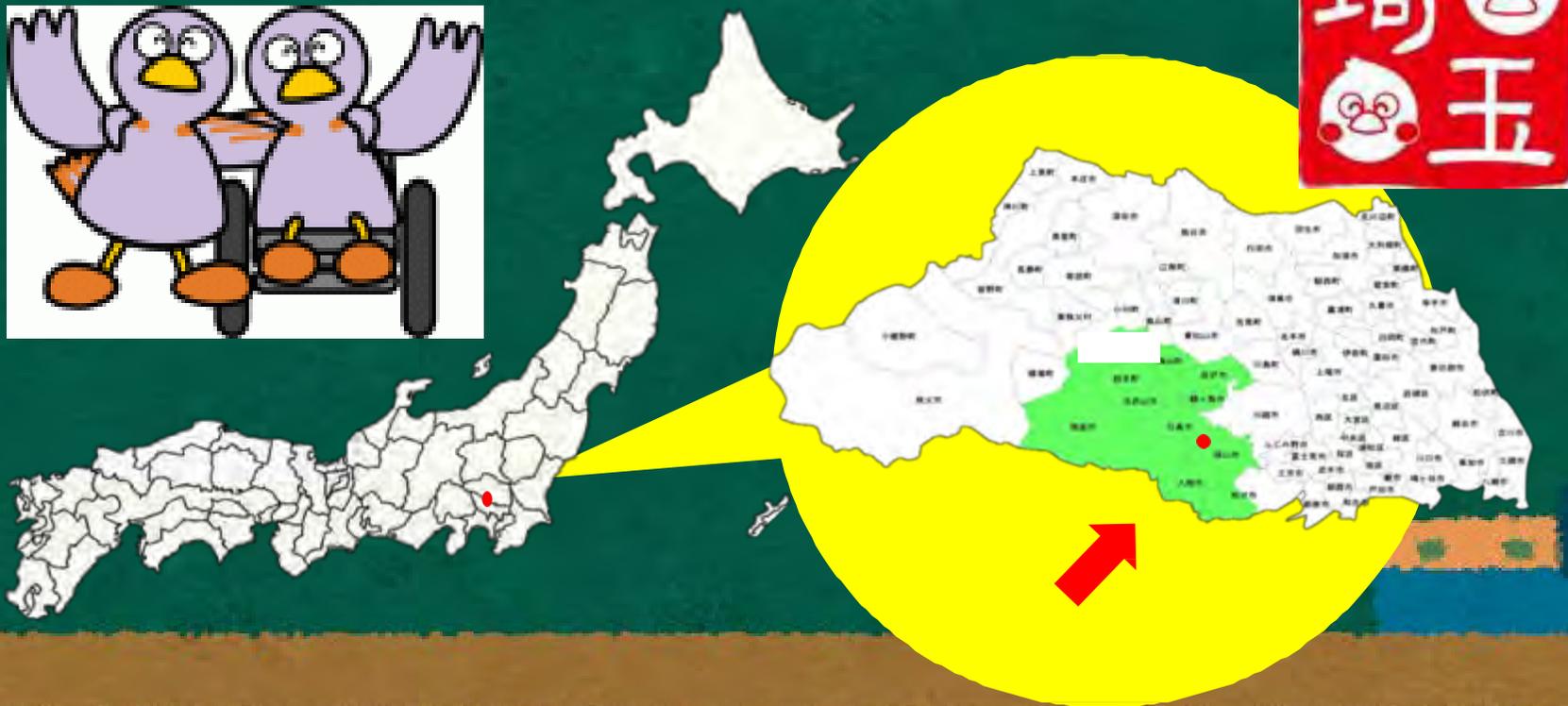
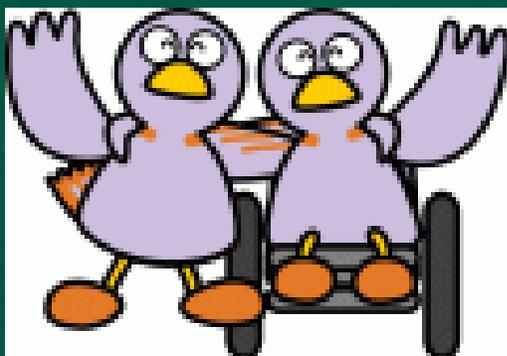
各学部の安全指導の内容

安全管理の内容

組織活動の内容(職員研修)

3. 埼玉県立日高特別支援学校の概要

本校は埼玉県西部にある、開校39年目の特別支援学校（肢体）です。
県内西部の7市3町が通学区域でスクールバスや保護者の送迎で通学しています。



日高特別支援学校の防災学習

かわせみ防災タイム 9年目の取り組み

- ①児童が様々な状況を設定した体験を通し、災害から身を守る方法を知る
- ②防災学習や体験を通して災害時に必要な支援を受けたり、行動をとったりできるようにする

教育課程上は

一般学級…特別活動・総合的な学習の時間(探究)

重複学級…生活・特別活動

防災委員会…特別活動

年6回



①一般学級(準ずる教育)では

「総合的な学習(探究)の時間」

「火事(地震)からの身の守り方」命を守る物語

「安全な住まい」家具の固定・耐震

「我が家の備え」「災害対策チェックキット」

「情報を伝える」災害伝言ダイヤル使い方

「避難所について考えよう」「AR体験」

「クロスロード」「マイタイムライン」

友達と話し合い、様々な考えを知る

外部講師や企業の協力

自分でもできる「やってみよう」

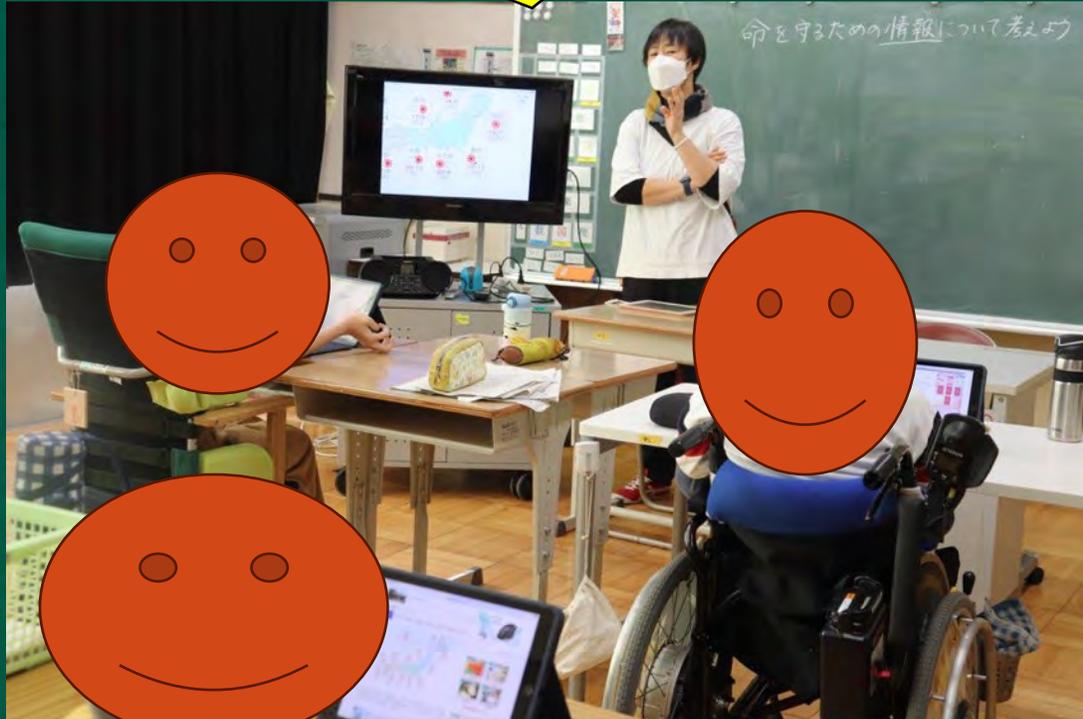


自分を守るために必要なスキルや考え方を身につける

「命を守るための情報について考えよう!」

iPadを使って
天気の情報や
警報を確認できるね

防災手帳のページには
防災情報がたくさんあった
ハザードマップも見れるよ



震度6弱ってどんな地震？ 起震車とは違う揺れを再現

某ドラマのように
走って逃げられない！

棚の前にいたら？
倒れてくるよね

机の下に潜っても
机も倒れるかも？

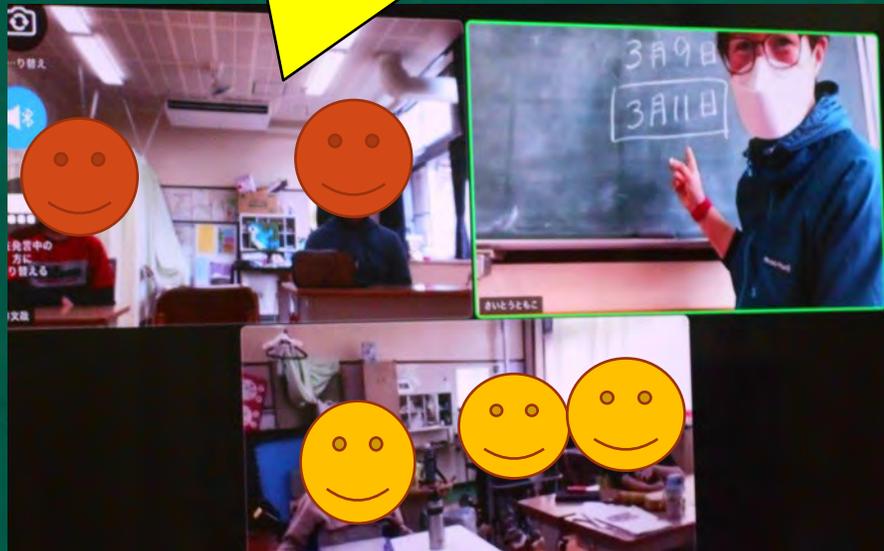
立ってられない揺れ
先生も膝をついたよ

自分たちは
どうしたらいい？

「あなたの大切なもの」 1日前プロジェクト・岩手日報の記事から

中学部・高等部の生徒
をオンラインで繋いで
実施

この記事を読んで
「大切なもの」
について考える



「語り継ぐ」 大川小を訪れた大学生の語り

TEAM大川 未来を拓くネットワークの語り部から話を聞いた
聖学院大の学生の話聞く

そんなことがあったなんて
知らなかった

もっと知りたいと思った

コロナで活動ができず
この学びを伝える手段がない

「クロスロード」の実践から

クロスロード

「ショッピングモールで家族と離れている時に火災発生！」

自分だけでも逃げる

それを選んだ理由やもう一つの選択肢を選ばなかった理由。

YES
家族をさがしているうちに、にげられおぼろがるか
さきにはげでからさがす

逃げずに家族を探す

それを選んだ理由やもう一つの選択肢を選ば

いっしょに
にげるか

それを選んだことによってどんな問題が生じますか。またどう解決しますか。

パパとママが

しなと

その他メモ

にげず家族を
さがす

もし 避難所生活をする事になったら…?



体育館に入るには階段がある。車椅子では上がれないなあ...

体育館で避難生活！の心配①

ペットの場所がない ペットをつれてけな
 床が固くて寝るのが痛そう はねがあたつてい
 夏は暑い冬は寒い 夏だったら熱中症になる
 学校が休みになり 友だちとあそべない

目の不自由な人が避難してきた。盲導犬はペットと同じ扱いではない！はず...

ライフラインが使えない時

停電になると ゲームやスマホの充電ができない。療器具の電源が心配 **バッテリー切れ**
 ごはんはどのようにするの？ **水が足りない**と困る
 水が使えないとトイレは？ **トイレ(新しく作らないといけない)**
 トイレにいそとしてき、人がいっぱいいていいきにくい
 公衆電話が混んで連絡が取りにくい **電話回線が混む 連絡**

体育館で避難生活！の心配②

やることがないし **ひま。あそび**
 くらがいない **くらがきかない**
 常備薬がない **くすりがない**
 ひろきになったときにならういんにいけな
車椅子に対応するトイレはあるのか

知らない人が多くて不安・気を遣う

家庭によって違う生活リズムが合わずに問題になりそう。
 他人とのコミュニケーションが苦手だとラクスできない
 矢口はいいが、いじわるから声をかけずらいこともある
 知らない人、いじわるな人、寝れない
 カバがなから人に聞かれたくないことが
 言えない。プライバシーがタダぬ
 呼吸機などを使う人は、好きで使ってる訳じゃないのに、色々言われて。
おせがうつる 伝染病

人がたくさん避難してくる

体育館が **せまい** 歩けない **あふれる**
車椅子が通る幅がなくて大変
とがれない、障害のある人は大へん



児童生徒も避難所についてこんな心配を持っている

避難所までに行けるか…不安

必要な物品や場所の確保が難しそう

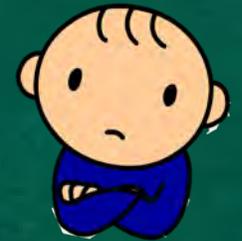
リラックスできない 周りの目が気になる…気を遣う

暑い&寒い 環境が悪い

感染症も心配

避難所って我慢ばかり 大変そう

することがない 自分は災害時要配慮者なの？



災害時だから仕方ない？



避難所に対する不安がたくさんある
どうしたらいい？

避難所でできることを見つけたよ

いつも通りに役割を果たすことでみんなの役に立つこともあるね!

掲示板の情報を伝えよう



トイレの案内や手を貸すことも



机をふいたり掃除



得意な英語を生かそう!



こまった人がいたら助けをかける



大声であいさつ



食料配給の手伝い

あいさつおはようございます

かたもみ

知らない人とも仲良くなれるかな?

得意な絵を描いて見せたいな

外国人への小情報提供



ルールをみる



おなまえさしててもだちになる



物資の運搬の手伝い

赤ちゃんとあそぶ
読み聞かせ

勉強を見る
小さい子と話し相手になること

えんがいでみんながまたのしませる

支援を受けるだけでなく 得意なこと・普段の係活動を生かせる

6年生 社会科「防災まちづくり・くにづくり」



自分と同じ年の小学生の被災体験を聞き「自分だったら」という意識を持つように。

川の土手に桜が植えてある理由を知ったよ

山間部に住む友達の話を聞いて土砂崩れが起きないために何が必要か考えた。

自分たちはいざとなったら走れるけど車椅子の友達は高台に間に合わないかもしれない。高台に学校があるほうがいいかもしれない。



「わがこと」化

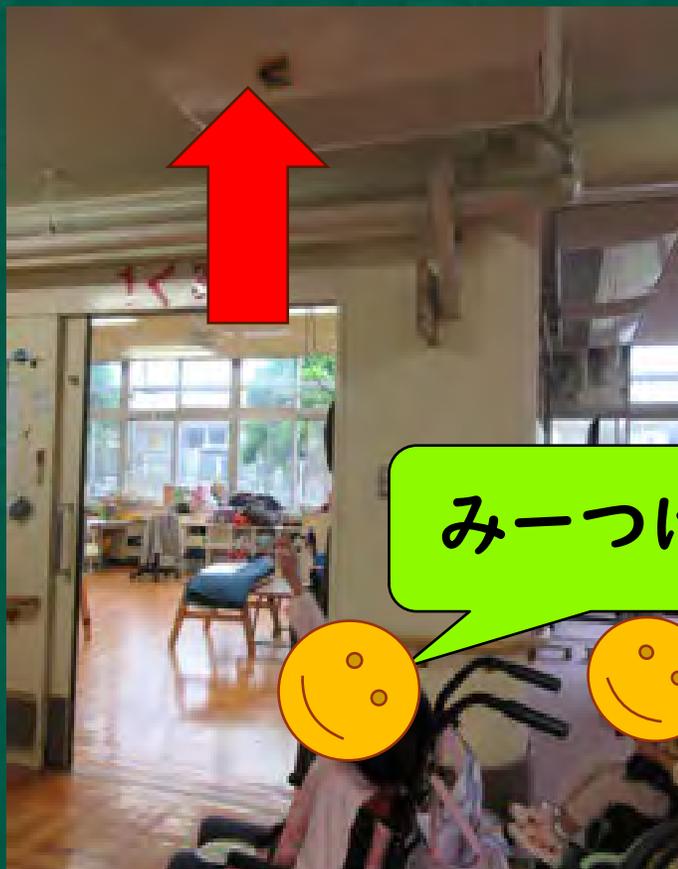
相手の立場になる

「安心できるまちづくり」について
学んだことをお昼の放送で全校に発表

埼玉県には海はないけれど、旅行や将来海の近くに住むかもしれないから今から考えておこう

②重複学級では… 危ない場所を見つける

危ない場所の可視化（ぐらぐら妖怪）



教員と一緒に身を守る方法を知る（低学年）

教室の写真を見ながら危ない場所に忍者のシールを貼る・発表する（高学年）

外部との連携～聖学院大学の学生と一緒に～

被災地支援をしている
大学生に本校の授業を手
伝ってもらう



特別支援教育に関心を持
つ学生に子どもたちと関
わってもらう機会を

かわせみ防災タイムで学習したこ
とを一緒におさらい。
かっこいいヒーローにみんな注目!



体験活動を重視

五感を使って

透明な煙テントで煙の動きを可視化
中からも外からも煙が見えない



災害伝言ダイヤル体験
NTT東日本の
ビックフォンを使って



ARを使って
浸水を疑似体験



自分の防災袋を確認



アルファ化米で
調理実習



防火扉の使い方



家具固定の大切さや
車椅子の動きを
模型をもとに疑似体験



学校生活の様々な場面に防災へのしかけ 自然と目にする所に

めくりたくなる
防災クイズ



職員親睦会費で
ヘルメット購入



防火扉を開ける場所を
わかりやすく



アルファ化米で
おにぎり屋さん



図書室に
防災コーナー
好きなキャラクター
で学ぼう



校内の棚は固定

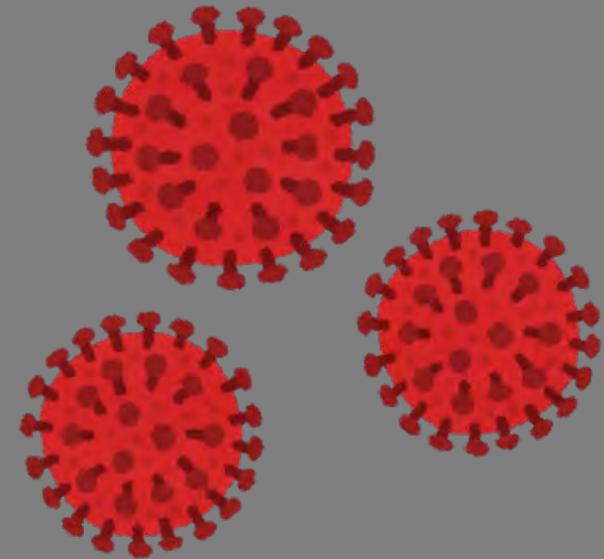


校内にヘルメット



令和2年度より
新型コロナウイルス感染症
感染防止対策のため

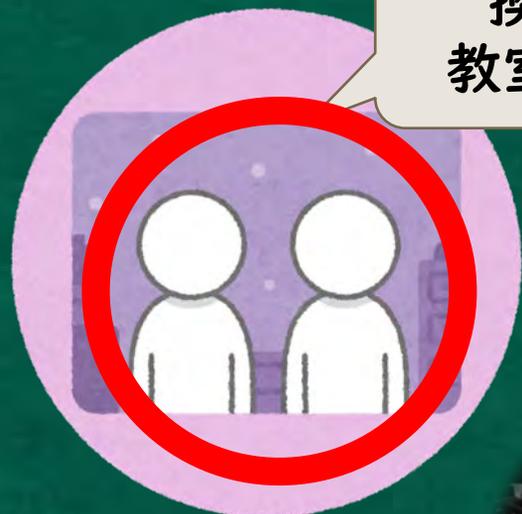
学校行事中止
学習活動制限（三密を避ける）



③ コロナ禍の防災学習

三密を避けて学習をする…?さてどうしよう

換気しながら
教室or広い場所



指導するために
密着は避けられない
学級単位のみ



集団での指導は中止



学級間交流は不可



～遠隔授業 校内&校外～

静岡大学教育学部藤井研究室と
コラボし、特別支援学校用の
防災学習を共同開発。
沖縄県の特別支援学校も参加



校内小・中・高の一般学級の教
室をzoomで繋いで
避難訓練の振り返りと避難の
意味について考える



できないなら できることを 始めてしまえ ホトトギス



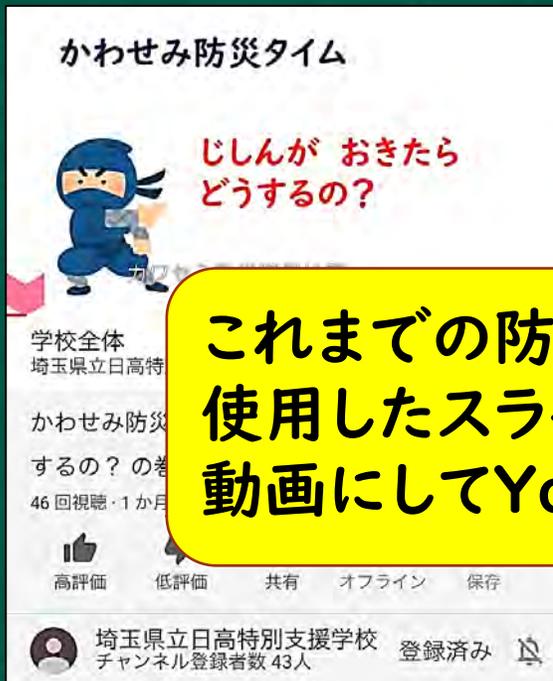
みんなで集まれないなら
教室でできればいいから
授業で扱ってたスライドを
動画にしちゃえ



臨時休校の時に
パワポスライドを動画に
編集できるように



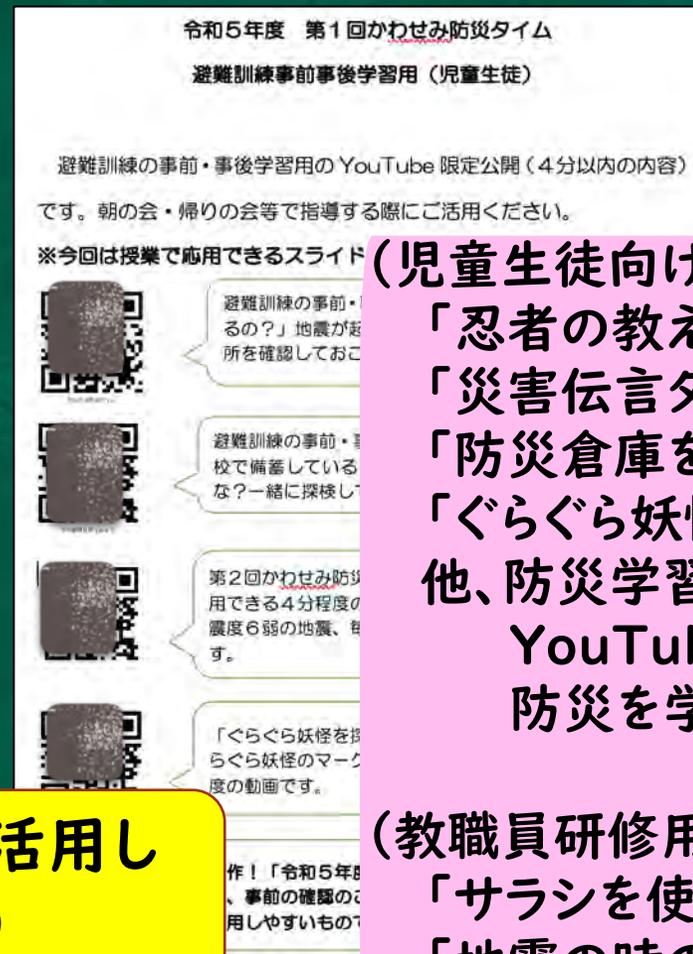
動画をYouTubeの学校チャンネルにUP iPadからQRコードで読み取り、指導に活用しやすく



これまでの防災学習で
使用したスライドを
動画にしてYouTubeに公開



教室ごとに動画教材を活用し
指導の参考にしてもらう



(児童生徒向け)
「忍者の教え」
「災害伝言ダイヤルの使い方」
「防災倉庫をみてみよう」
「ぐらぐら妖怪はどこだ?」
他、防災学習センターの
YouTubeチャンネル
防災を学ぶサイトのリンク

(教職員研修用)
「サラシを使ったおぶい方」
「地震の時の揺れる様子」
他、かつて研修で使った動画

できないなら できることを 始めてしまえ ホトトギス



コロナ禍で消防署が
来校できず訓練の指導を
できない

もうすぐ火災の避難訓練
消火器の使い方を学習す
るために動画作ろう



専門家との連携

消防署の協力で消火器の使い方の動画を作成

動画制作に渋られましたか
まさかの上席が教え子のお父様!一発でクリア!

のちに本校の防災担当の中学生時代の同級生と判明!



概ね好評だったが、一部からこんな声も



そもそも見てない



実態に合わない

難しい内容



(児童生徒向け)
「忍者の教え」
「災害伝言ダイヤルの使い方」
「防災倉庫をみよう」
他、防災学習センターの
YouTubeチャンネル
防災を学ぶサイトのリンク

(教職員研修用)
「サラシを使ったおぶい方」
「地震の時の揺れる様子」
他、かつて研修で使った動画



やらないなら やっちゃうように しかけてしまえ ホトトギス

行動経済学
ナッジだね

「～してください」だと
なかなか行動につながらない



こちらで
お待ち下さい

こちらで
お待ち下さい

こちらで
お待ち下さい

だって忙しいんだもん



やらされるのではなく
「やりたい」と思わせる
自然とやってしまうようにしないと
各自で学ばないのでは?



～ICTを活用した防災学習 かわせみ防災クエスト～



実態に応じた問題

生活年齢に合わせた問題

QRコードで読み取り
ミッションに挑戦

東京にある任意団体
「マッシュ&ルーム」
の協力で制作

校内にある10個の
ミッションに挑戦

防災委員会の協力

密にならず
防災学習ができる



共通問題 7問

障害の重い児童生徒でも教員や友達と一緒に

防災委員会制作
防災絵本を読む



校長&防災委員長
とコラボで出題



あたりまえ防災体操

35秒チャレンジ

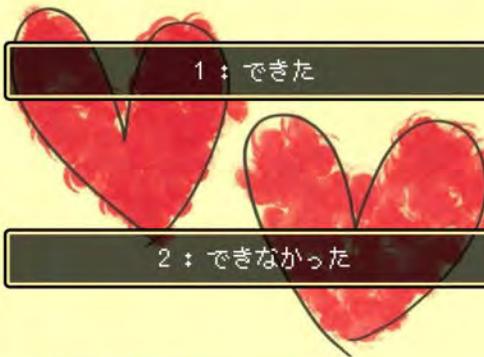
消防署とコラボ動画!



学部別問題 3問 年齢別に難易度を変えて 一人でまたは教員と一緒に挑戦

小学部
気持ちを伝えよう!

MIS 小: 伝えよう



1: できた

2: できなかった

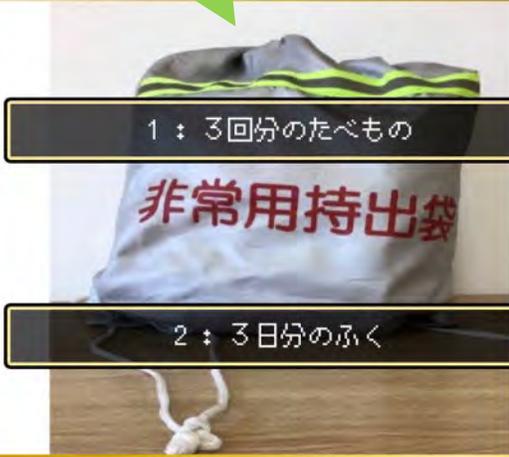
じぶんの なまえや たいちょうを つたえて
みるのじゃ

非常ロクイズ

安全な場所

中学部
防災袋の中身

MIS 中: 防災袋の中身



1: 3回分のたべもの

2: 3日分のふく

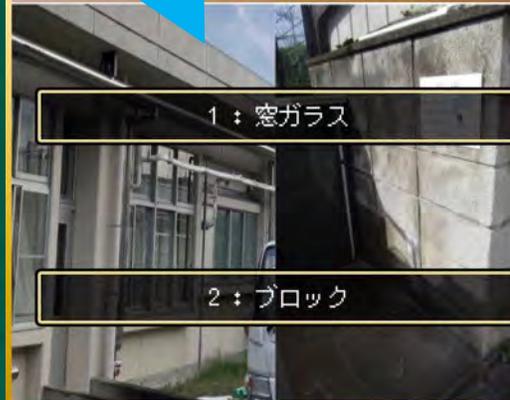
ぼうさいふくろを よういしているな? なか
にはいっているのは なにかな?

災害伝言ダイヤル

校内の危ない場所

高等部
外の危ない場所

MIS 高: 外の危険



1: 窓ガラス

2: ブロック

ヒントじゃ あぶない ばしょ とは 「おち
る」「たおれる」「うごく」「われる」ところ
じゃ (見つけたらボタンを押す)

大雨時の避難

心肺蘇生法

学部別に色を変える 視覚支援 これで間違い防止!

高等部

小学部

設置場所を
学部ごとにすることで
三密の回避

各学部棟には
学部問題
特別教室やホール
に共通問題

QRコードと
キャラクターの
吹き出しでも色分け

中学部

共通

ラスボスは赤で目立つように

ミッション登録のため、イベント的にチケットを配布!

埼玉県立日高特別支援学校防災委員会 マッシュ&ルーム PRESENTS



かわせみほろさい
クエスト2022

パワーアップしたBOUSAIの学びをキミに!
ミッションに挑戦して謎解きに挑戦しよう!

日高特別支援学校児童生徒様
特別招待券
キミも防災マスターになろう!



クエストへの参加条件

日高特別支援学校で勉強している人ならだれでも参加できます。
iPadを一人一台使います。

QRコードを読み取ってミッションに挑戦して下さい。

ヒントは身近なところにあるかもしれません。探してみてくださいね。

各学部棟に3つ、全校で使う場所には7つ、合計で10のミッションがあり、
ミッションにクリアするとメダルがもらえます。

まずは左のQRコードから登録してね!

先生たちも登場するから興味津々

おなじみの
あたりまえ防災体操
踊っちゃおう!

宿屋で回復!
元気になる場所
保健室の先生



伴奏は
教頭先生

神様役の
校長先生!
眩しすぎます



すぐに取り組みなくても参加の仕方はそれぞれ

フォトフレームを設置

キャラクター
デザインは生徒



インスタ映え!?
を目指して



写真撮ったら最後!?!いつかやらねば!という気持ちになる

早速クエストに挑戦！ 意欲的に学習できる

地図でチェック



みんなやってるね？



クエスト作るために防災委員会に入った人たち



やったー！あたり



みんな～
ここにあったよ！



僕の撮った写真は
あるかな？



できないなら できることを 始めてしまえ ホトトギス



こんな面白いクエスト
学校だけじゃもったいない!
みんなに体験してもら
うには外に行こう!



そうとなれば
売り込みに行ってきます!



県内外の特別支援学校や 埼玉県・名古屋市・東京都の防災施設他の イベントでもクエスト体験!

茨城県肢体校

神奈川県併設校

県内の特別支援学校

地元の福祉イベント

京都の高校生

マッシュ&ルーム
埼玉県立日高特別支援学校

スマホやタブレットを使ってQRコードを読み込んでニックネームを登録してね

みんなで作ったミッションに挑戦してね!

キノコラリー with 防災プロジェクト

実践事例

- 埼玉県防災学習センター
- 名古屋市港防災センター
- 東京都立城南特別支援学校
- 神奈川県立茅ヶ崎養護学校
- 京都府立東福高等学校

かわせみ防災クエストはこれまで本校の児童生徒が学んできた内容から、発達段階や個性に合わせた問題をまとめ、校内に掲示した10個のQRコードを各自のタブレット端末から読み込むことで防災学習に取り組むことができるツールです。ICTに詳しい「マッシュ&ルーム」防災委員会が制作しました。

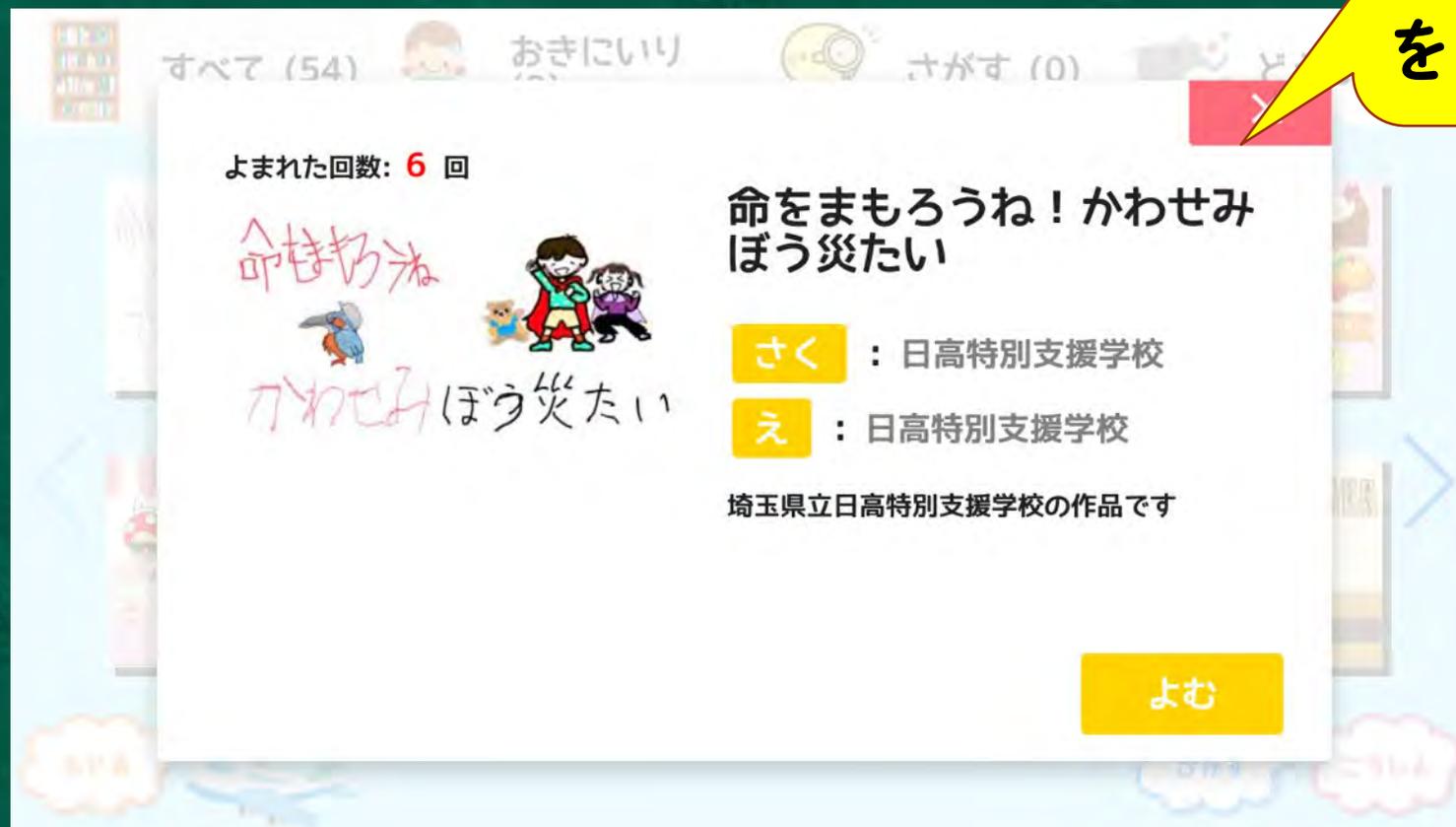
コロナ禍でも防災学習を継続するため、令和3年度、令和4年度の



特別支援学校の防災学習
誰でも防災について学ぶことが
できる?ことを検証

ICTを活用した防災学習～デジタル絵本『いのちを守ろうね!かわせみ防災たい』

声に反応して動きます
シンプルに伝えたいこと
をまとめました



- ・楽しく学ぶきっかけに
- ・教職員の異動により、本校の防災学習を再確認
- ・「やりたい」と主体的に取り組む
- ・余暇を楽しむ
- ・気づいたら防災について知識を得ている



開かれた学校づくりと危機管理の課題

特別支援学校の特徴 居住地 \neq 学校の所在地
(市街地から離れている場合も)
広範囲にわたる学区 スクールバス・公共交通機関で通学
居住地域の災害リスクが異なる

【課題】

- ・学校周辺・居住地周辺のそれぞれの**住民との交流が希薄**
- ・市立と県立（設置者の違い）なので**情報の共有ができていない**
必要性は理解しつつ、業務の多忙化で**余裕がなく防災対策は後回し**

【改善のために】

- ・普段から顔の見える関わりを深め、災害時の協力し合える関係づくり
防災教育・防災体験プログラムをきっかけに地域の災害リスクを知る

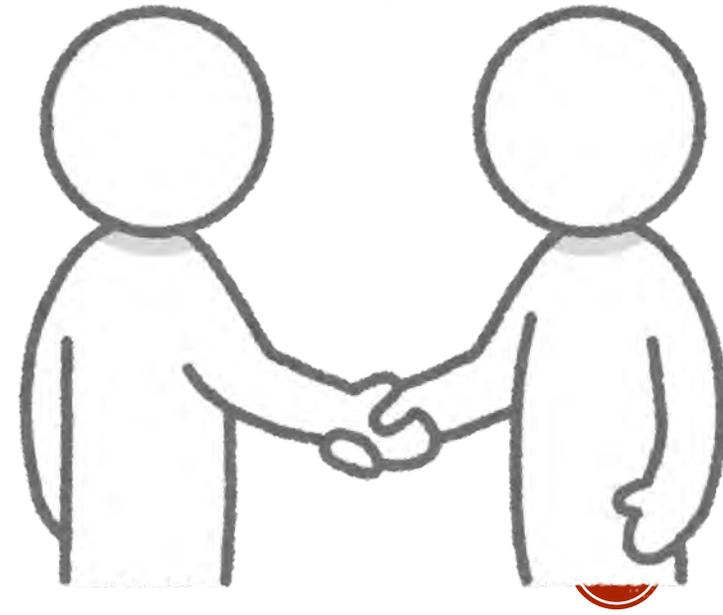
やってないなら 新しいことを 始めてしまえ ホトトギス



本校の委員会活動でも防
災に取り組めないかな？
え！新しく作っていいの？
じゃあ防災委員会設立！

誰でもできて
活躍できる場所を
作っちゃえ！

防災をキーワードに
地域の人に
本校を知ってもらおう



④防災委員会の活動(小4~高3)

- ・本校を安全にするために、防災についての課題を見つけ、解決するための取り組みを行う。

東日本大震災から11日を
防災の日として活動
チラシを各教室へ配布



地域へ
プレゼント



はるかのひまわり絆
プロジェクト

危険な場所の可視化
「ぐらぐら妖怪」



廃油キャンドル



デコヘルづくり
ヘルメットに親しみを



支援活動 できることを



はるかひまわり種を
地域のひまわり迷路へ寄贈



東日本大震災
復興イベント

令和元年度台風15号
アシスト瓦を作成



神戸へ紙灯籠



令和2年度九州7月豪雨
被災地へタオル寄付



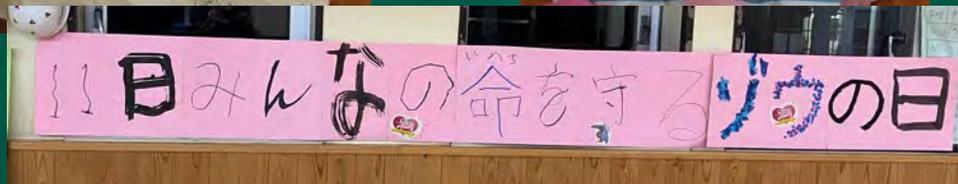
令和元年度台風19号義援金



コロナ禍対応で...



チラシを各教室に配れないので大きなポスターを作成し貼り出すことに。



放送委員会じゃなくてもお昼の放送しちゃおうぜ! 話せなくても方法はある!



委員会活動はオンラインで。各自の仕事を確認



宝石石鹼や災害用トイレを制作お世話になった方々にプレゼント

文化祭では令和4年度『たいせつなもの・まもりたいもの展』

自分のたいせつなものを絵や写真で紹介

家族・友達が圧倒的に多い
家族それぞれのものを紹介
してくれた人も



「時を重ねても大切なものは
変わらない」家庭でも再確
認してもらうため時計に加工



令和5年度『明日やりたいこと展』



みんなの
「明日やりたいこと」
文化祭で展示発表

大切なものをインタビューすると「命」が多かった。命=生きる、から日々をつないで未来へ繋げると考えてまず「明日への希望」から考えることに。福島大の先生の指導のもと一緒に考えたテーマ

みんなの大切なもの「命」について
考えた防災と言わない防災ソング
『あしたがやってくる』

みんなで命について考え
歌を作りました。
自然と口ずさむメロディです



明日がやってくる

令和5年度のICT活用教材

「KAWASEMI BOUSAI GAME」



防災委員会で問題を考えました。



防災委員会のクラフト活動+防災の視点で 作って楽しい!いざという時に役立つものを

『魔法の粉』でおもちゃや生活に役立つ
不思議なものを作ろう!

災害用トイレの仕組みをおもちゃ作りで学ぼう



センサリーバックと
いうおもちゃになるよ

高分子ポリマー
水分を吸収する

触っていると
気持ちがいいね
楽しいね

魔法の白い粉
ジッパー袋
ぷよぷよボール
スパンコール
キラキラテープ

触ってみると冷たくて
気持ちいなあ



コロナ禍の社会福祉協議会のボランティア体験プログラムでも



日高市ボランティアセンター

8月23日 15:19

【🔴 防災グッズを作って特別支援学校に送ろう！🔴】

8月18日に彩の国ボランティア体験プログラム内のメニュー「防災グッズを作って特別支援学校に送ろう！」を開催しました👏

日高特別支援学校の齋藤先生に講師をしていただき、埼玉県
の災害予想や実際に電気 が使えなくなったとき、どのよ
うなことに困ってしまうのか等、分かりやすく学ぶことが
できました👏

先日、停電があったことから身近な問題として参加した中
学生も災害への備えについて考えることができたと思いま
す。

後半では、簡易トイレ で使われる吸水性ポリマーを使
い、簡単できれいな保冷剤を作りました👏

また、コロナ禍ですが、オンラインを活用することで講座を
中止にすることなく開催することができました👏
齋藤先生、参加者の皆さまありがとうございました。

災害時、災害ボランティアの調整役となる社協としても、防
災について広める必要があります。齋藤先生の知識ももちろ
んですが、「伝え方」、「教え方」、職員も本当に勉強に
なりました！！

(吉田)

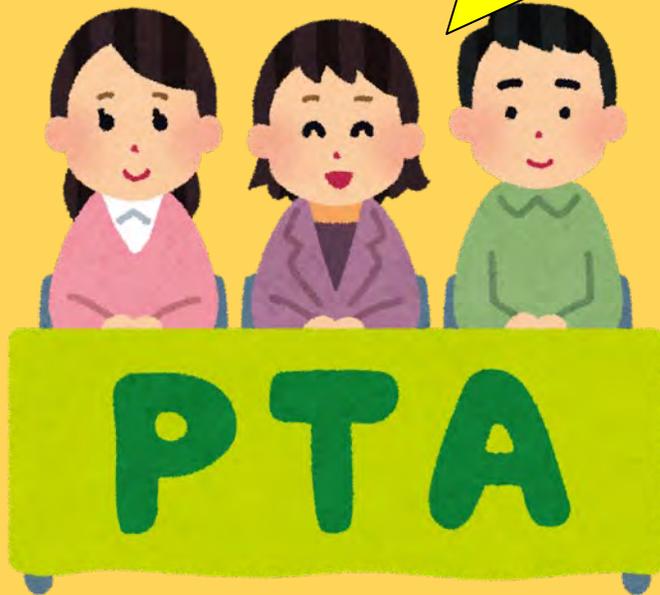
#日高市
#日高特別支援学校
#防災
#備え
#災害
#災害ボランティアセンター
#日高市社協

zoomを使って日高市の
中学生に特別支援学校についての説明や
この年の夏に大規模停電があったことから
埼玉県で起きる災害や災害時の備えについて
ポリマーを使ったセンサーバック作りを実施



防災について取り組むうちに…

もっと色々体験したいよね
避難所体験とかどうかな？



必要なのは分かるけど
負担が増えるのも困る
自分たちだけでは難しい
専門家ではないし



そうだ！周りを巻き込もう！

4.本校独自の「防災体験プログラム」 ～みんなで防災について学ぶ一日～

防災スタンプラリー

体験しながら学び・考える

様々な人たちとの連携

防災について考えるきっかけに
→当事者・支援者
障害のある人の支援方法を知る
→共生・共助

規模を拡大・オンラインなどで継続しながら10年



オリエンテーションで災害下の障害児の状況と危機を知る

【環境の変化に敏感】

生活環境の急変に対し、情緒不安定・パニック

【遊び場、生活・学校施設が利用不可】

エネルギー発散の場が失われ、ストレス増大

【排泄・食事の問題】

紙おむつ不足 トイレ 食べ慣れないものを拒絶

【医ケアが必要な重症児】

環境の急変で体調を崩す 医療物品の不足

電気・ガス
水道
トイレ!



いつもの生活ができない
生活再建ができない



ここに保護者のストレスも!

- ・避難先で気遣い、落ち着かない(周囲の人・家族)
- ・復興のための片付け、手続きの際、子連れでは動きにくい
- ・子どもの緊急時の対応に不安
- ・日常介護の負担増大

車椅子の不便さを体験する 避難が正解なのか？



狭い・不安な避難所

車椅子を押して炊き出し
...手が離せないし大変!



暗闇では足元も見えない
ガラスがあったらパンクして
しまう!
ヘッドライトが必要

課題を解決するために体験しよう!考えよう!



車椅子が使えない場合の
移動方法をスリングで



心肺蘇生法 命を救え



まずは安全な家を
家具固定

知識を得る=
自分たちも人を救うことができる

共助の取り組み

地域を取り込む①



市内の段ボール会社
& 社協のコラボ



県内の鉄工所の
ハンドバイク
体力も防災!



向かいの公園で活動
するボーイスカウト



市の危機管理課



埼玉県防災学習センター

防災+〇〇



防災&あそび



防災&行政



防災&県河川砂防課



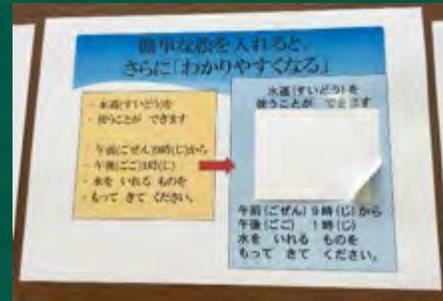
様々な人たちとの連携
障害についてみんなで考える
障害のある人の支援方法を知る



防災&障害啓発



防災&ICT



防災&県国際課
「やさしいにほんご」



防災&男女共同参画課



防災&県建築安全課



防災&クラフト



防災&クイズ



防災&企業



楽しく学ぶ
共に学ぶ
制度を活用して学ぶ

「埼玉県いつも防災プログラム」の活用



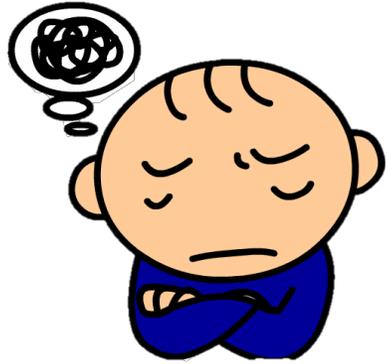
防災&ボランティア&
障害者・高齢者体験



防災&食

地元企業による野菜の
乾燥粉末入り蒸しパン

コロナ禍では三密を避けなければならないんですよね…



体験することに意味があるのに、
集まれなきゃできないよ。中止だ!

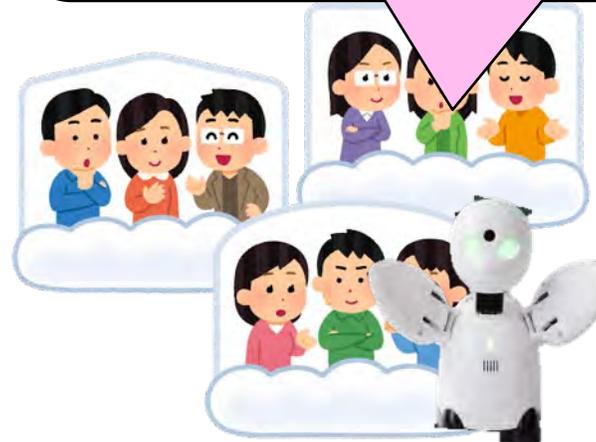
早々に中止を決めました。
安全でないならできない!

たまたま以前防災学習で
協力してもらえた人たちが
オンラインのアドバイスとロ
ボット体験の手伝いをして
くれることに!

オンラインの練習&
ロボット体験で
防災以外の人参加
するかも?

動画配信やオンライン授業
を始めてみたら
なんだできそうかも?
家からだと気軽だなあ

そうだ!
オンラインなら
できるかも



この3年間オンライン開催



防災・情報担当の連携
企業もサポート

直接会えなくても工夫をすれば
つながることができる。

- ・行政や専門家による防災クイズ。
- ・グループで「さすけなぶる」実施。
- ・「食事」「医療」「学校の対策」についての情報交換
- ・災害時の食事・トイレについてミニ講座

これまで培ってきたつながりを
コロナを理由に断たれないよう

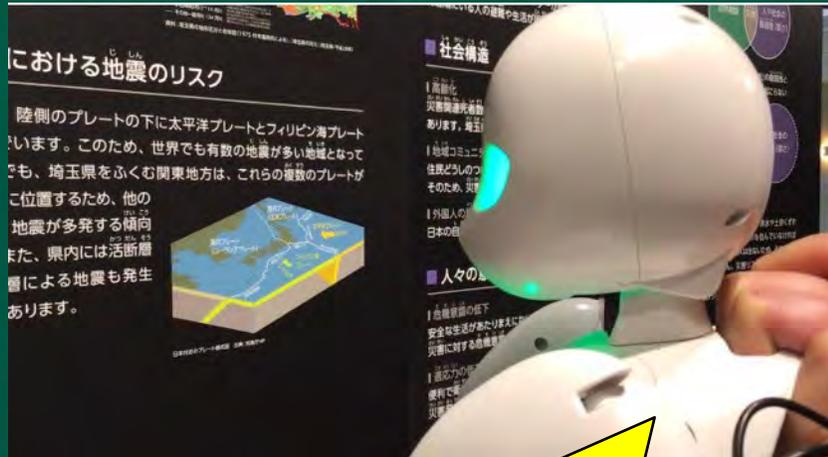


県内外の特別支援学校
行政・専門家も参加



児童生徒が
遠隔ロボットOriHimeを
使ってイベントに参加

分身ロボットOriHimeを使って防災を学ぶ



家庭から児童生徒がOriHimeを操作して自由に質問

オンラインで行った防災体験プログラムクイズに挑戦

埼玉県
防災学習センター見学



10回目の今年は対面もオンラインも！ハイブリットで実施



防災クラフト



減災教室



リラクゼーション



災害時の食事



いつも防災に挑戦

継続の仕組みづくり

資金面 学校には予算がない

- ① (株)イオンの「黄色いレシートキャンペーン」助成金
主に食材や消耗品にイオンで交換
- ② 弘済会埼玉支部の防災教育助成金
主にOriHime等高価な機材や講演会講師の謝金
- ③ 行政の市民(県民)講座・派遣申請を活用 **無料**
- ④ 県の防災訓練助成制度の活用 米 LPガス
- ⑤ デモ機・見本の活用 無料で提供
協力団体は無償

人材面 教員以外の専門家・人手の確保

- ① 日高市社会福祉協議会主催の「彩の国ボランティア体験プログラム」とタイアップし、学生ボランティアの確保
- ② 防災士会との連携(毎年の行事に組み込む)
- ③ 行政や企業・病院と連携
- ④ PTA 年間計画・担当決め
防災・障害関係のイベントで参加を呼びかける

ネットワーク
フットワーク
チームワーク

内容面 分かりやすい

- ① 埼玉県作成「イツモ防災プログラム」
小学生向けの内容 資料も分かりやすく
専門的過ぎる内容にならないよう依頼
- ② 10分から15分程度の内容
模型の活用や「やさしいにほんご」表記
- ③ 遊びの要素も
楽しそうだ!という動機づけ
- ④ 体験型
AEDや試食、クラフトなど実際に自分で
または家族や支援者と一緒にやってみる
反省等を元にブラッシュアップする

リラクセーション動画は期間限定配信でしたが 能登半島地震を受け、公開しHPにアップ

避難所でできる
リラクセーション

避難所でできるリラクセーション

46 回視聴 2 週間前 ...その他

 埼玉県立日高特別支援学校 77

 高評価   共有  オフライン  保



避難所でできるリラクセーション

46 回視聴 2 週間前 ...その他

 埼玉県立日高特別支援学校 77

ネットで知った兵庫県の特別支援学校から
能登地震被災地の特別支援学校へ



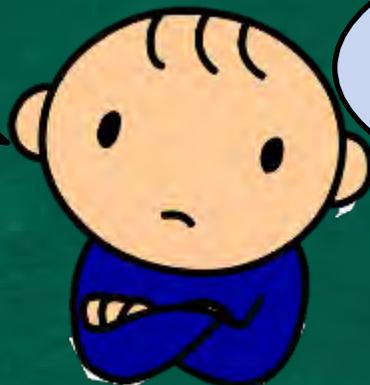
リラクセーション動画

5.防災学習をはじめよう

どの学習でも「こんなことができるようになってほしい」というねがいから学習課題を設定するので

災害時こんなことができるといいな

という視点で考える



災害時これができるないと困るだろうな

災害をより具体的にイメージすれば学習課題が見つかる
児童生徒の実態に合わせて教材を自由に作りだせるのが
特別支援学校の教員の強み

どの教科・領域で取り組む？カリキュラムマネジメント

特別支援教育における防災学習

- ・支援を受けるための心と身体づくり → 自立活動を中心に
- ・楽しく学び 体験する いつもの生活の中に
- ・障害特性にあった教材づくりの工夫
- ・継続できる仕組み(教育課程・連携・行事計画)
- ・いいと思うものを積極的に取り入れる 情報の入手
- ・周りの人たちに発信 → つながるきっかけ
- ・受援力 → こちらから働きかけ、連携先を増やす 一緒に考える



防災教育について取り組むための一工夫

学校教育活動全体で取り組む
教科・領域で扱う
学校行事に+

実態を考慮した教材
いつもの生活に
防災文化
繰り返し学ぶ



知らないことはできない
学習指導要領に基づいた
授業づくり

日本どこでも災害
が起きている！
埼玉は未災地

楽しく学ぶ！

命を守るために日々の生活の中で取り組む防災教育

コロナ以前と変わらない 障害ある・なし関係なく



まずは自分の命を守る

繰り返し

学校以外の人との連携

体験と共に

分かりやすい言葉

人に伝える

仲間と共に

生活の中で

信頼できる大人と

コラボレーションしましょう!ご連絡お待ちしております

メールでも電話でも
お待ちしております



特別支援学校



閃いたら
まずは相談してね



消防署
消防団



なんとか工夫するから
とりあえず連絡ください

専門家

企業

市民

市役所



行政

小学校



中学校



高校



大学生



障害あるなしに関わらず 相手を理解しようとする気持ち 尊重・共生

知ってること
みんな伝えたい

相手を知ろうと
してほしい

分からないから
関わらない

ここは対応で
きませんよ

縦割り対応

一方的な内容
わかりにくい

偏った見方
教えてやる!感

依頼されて
ないことまで話す

わざと
怖がらせる

トラウマに
させないで

高圧的
卑下する態度

分かんないで
しょって
見下してません?

なぜか学校に
喧嘩腰?

可哀想
やってあげる

自己決定
させて

私の意見
も聞いて

可哀想じゃ
ないのよ



(過去資料) 本校の実態に即した想定 of 避難訓練

- 放送が故障! …声の伝達
- 避難中近くで火災! …避難経路を変更
- 上から空調が落ちた! …周囲の安全確認
- 誰か倒れている! …負傷者救助
- 指令カード…考えるきっかけ
- 防火扉…開けられる?



様々な想定・現実的
考えるきっかけ
柔軟な対応力



(過去資料) 目的・手順を明確にした引き渡し訓練

参加学年を限定し、最低限の負担で実施

災害時組織班の動きを確認

フリーの教員が全体を見る

狭い敷地内で車の安全な誘導を確認

(成果)

- ・引き渡し手順の確認
- ・全体の動きを様々な視点でチェック

(課題)

- ・学校災害対策本部の設置場所・動き
- ・教職員だけでシュミレーションを行う必要性
- ・学校待機中の子どもたちの不安の解消・心の安定



(過去資料) イベントと合わせて福祉避難所設営訓練

防災体験プログラムと同時開催

前日に避難所運営に必要な班編成、
部屋割り、ルールを話し合う

学校に参集順に役割を決め、被害状況確認、
避難所受け入れ開始、設営の準備

スターターBOXの活用

訓練後、前日の話し合いを検証

大混乱の中、次から次に
課題が出て、対応を迫られ
ることに!



喫煙所のこと、男女別の
配慮、物資置き場、防犯
まで…なるほどなあ



(過去資料) 緊急地震速報音を用いたショート訓練

- ・緊急地震速報を用いた訓練
短時間でいつでもどこでも訓練ができる
- ・抜き打ちの訓練
いつでもどこでも対応できるように
プールでも実施
- ・自分で、または教員と一緒に
身を守る行動がとれるようになる。

いつでも地震が起こる可能性がある



ショート訓練による成果

自 助

- ・自ら頭巾を被る
- ・上を見て、落ちないところに移動する
- ・教員に頭を守るものを取ってもらう
- ・落ち着いて取り組む

共 助

- ・友達の頭巾を一緒に取って渡す

実際の地震発生時も落ち着いて身を守る行動がとれた



(結果) 防災教育について考えるように…

本校の児童生徒は「自分ではできない」から
私たち教職員・保護者が守れるようになればよい

訓練の実施

児童生徒の変化

本校の児童生徒でも防災教育の可能性があるので
はないか？「自分でできる・分かる」学習ができるの
ではないだろうか？



それで、スライドの最初へ戻る…

1.防災教育について取り組む中で言われたこと

時間がない

教材がない

実態に
合わない

災害は
起きない

いつも+防災

@2024Hidaka Saitoh

